

付表2-3

平成 21 年度 (当初要求 ・ 補正要求)

地

地域自治区振興事業予算調書 (新規 ・ 継続)

事業名	歴史文化振興事業(厚田区地域振興事業)	総	マ
-----	---------------------	---	---

要求額	500 千円	(10款教育費 5項社会教育費 10目資料館費 11節需用費)	要求課名	厚田区生涯学習課
(財源内訳)		※該当テーマ	担当者名	主任 栗谷 幸介
国庫支出金		1 地域協働推進事業	関連課名	文化財課
道支支出金		※事業の目的(事業立案の検討視点など)		
市債		・ 厚田区の歴史上ゆかりの著名人を広く紹介し、厚田区の歴史文化に触れ親しんでもらうと共に、これらの著名人を輩出した厚田の存在を全道・全国にPRしながら、新たな地域づくり(厚田公園・あいロード夕日の丘・海浜公園などの観光スポットとの一体的なつながり)と歴史・文化の伝承を図る。		
その他財源		※事業の概要		
一般財源	500	①「人物から見る厚田の歴史と文化」展		
特定財源名及び補助率・充当率		・開催予定時期 8月上旬(各1週間程度)		
地域づくり基金100%		・開催場所 石狩市民図書館・厚田総合センター・望来コミュニティセンター みなくる		
		・開催内容 厚田区の歴史・文化に貢献した著名人をパネルにて紹介		
		※事業の方法(対象など)		
		・既存資料の有効活用を図り、第一弾としてパネル展を実施し広く著名人に対するニーズを把握する。次にパネル展で得たニーズを活かし、資料館構想を取りまとめ、新たな資料館の誕生を目指す。構想の策定、取りまとめにあたっては地域住民が主体となるプロジェクトチームとの協働により、今ある全ての資料を再度整理確認、具体的な目標を定め、新たな資料館構想(展示レイアウト)を協働で策定する。		
		※事業の効果		
		・全道・全国、区内外の多くの人達にこれら著名人を輩出した厚田の存在をPRすることができ、厚田の観光スポットである「厚田公園」「あいロード夕日の丘」さらには21年度オープンする「海浜公園」との一体的なつながりを導きだすばかりでなく、地域住民との協働による資料館構想の実現により、地域に更なる動きと新たな地域づくりへの活性化が図られる。		
		※今後の事業計画		
		・H21年1~4月 資料整理確認、台帳の作成	H21年 8月	パネル展開催
		H21年 9月 地域振興事業再提案(地域協議会)	H21年5~9月	資料館構想策定
			H22年 7月	あつた資料館リニューアルオープン
●要求額のうち今年度限りのもの		※事業費の積算根拠		
		・歴史文化振興事業開催経費		
		500千円		
	500 千円	科 目 金 額	内 訳	
		報 償 費 35,000	説明員謝礼 1名×5,000円×7日間=35,000円	
		需 用 費 465,000		
		(消耗品費) 41,000	看板(内外) 2枚×15,000円=30,000円 消耗品11,000円	
		(印刷製本費) 424,000	パネル(中) 15,000円×17枚×1.05=267,750円 チラシ30円×1,000枚=30,000円	
計	500 千円	計 500,000	パネル(大) 20,000円×6枚×1.05=126,000円	

成果指標	【成果指標】			【総コスト試算】 (千円)	
	参加した区民の人数			①当該事業費(直接経費)	500
進捗状況	人	目標	年次	②職員給与費	0.4人
	H21達成見込み	H20見通し	H19実績	③臨時職員費	0.0月
	人	人	人	④その他	0
				総コスト(①~④)	3,940
				(参考)H20指標単位当たりコスト	#VALUE!
					#VALUE!